

第2回 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進民間会議

【概要】

日時：平成24年9月14日（金） 10時30分～11時30分

場所：大阪府庁新別館北館1階 さいかくホール

出席者：14名（うち4名が代理出席）

議題：議題1 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けた工程（案）

議題2 世界文化遺産をめざす“百舌鳥・古市古墳群”を活用したまちの魅力づくり

議題3 その他

【議事概要】

➤事務局長挨拶

➤出席委員の紹介

➤設置規程変更の報告

➤会議の公開について報告

➤議題1について資料に沿って事務局から説明。

◆委員長

- ・富士山、富岡製糸場の次に百舌鳥・古市古墳群の登録ということであれば、このスケジュールを全てやっていかねばならず、非常にタイトである。行政も各団体も本気になっていかないといけない。
- ・工程表について質問はあるか。また、この間の各団体における活動についてもご報告願いたい。

◆委員

- ・私のところでは、藤井寺市商工会と共同で、百舌鳥・古市古墳群のシンボルマークのシールを作成した。今後、藤井寺のアンテナショップや羽曳野の道の駅、各種イベントへの出店時に、特産品に貼って来場者にPRしたり、両商工会の郵送物に使用したりしていきたいと考えている。

◆委員

- ・11月5日に京都で世界遺産条約採択40周年記念会合があり、海外から300名ほどのユネスコ関係者が来られる。過半数以上は関西空港を利用することなので、空港でどんなお迎えができるか、百舌鳥・古市古墳群のPRができるのかということ进行调整中。できる限りのことを実現できればと希望している。

◆委員

- ・ポスター・チラシは、可能な限り、各駅、なるべく広い範囲の駅で掲出する方向で協力したい

と考えている。

◆委員長

- ・ポスターデザインは事務局が作るのか、電鉄など色々なところで貼ってもらえるようなものか。

◇事務局

- ・現在作成中のポスターについては、各駅等で貼っていただきやすいような工夫をしたいと考えている。

◆委員長

- ・次年度の独立民間組織結成に向けて、1歩でも2歩でも進めていくということをお願いする。

➤議題2について資料に沿って事務局から説明。

◆委員長

- ・この地域活性化ビジョンを今年度、来年度の2年かけて作っていくということなので、どんな視点からでもいいのでご意見いただきたい。

◆委員

- ・世界遺産の登録に向けては、同時にまちとの関係を考えていかないといけない。世界遺産登録が観光、地元の活性化につながり、魅力的なまちになっていくのではないかと思う。特に堺には、千利休や与謝野晶子、江戸時代初期の山口家といった、新旧色々な文化的な資産があるので、そういったものを活かして、プラスアルファの魅力として一緒にPRしていくことが必要だと思う。また、地元の方も、自分たちのまちの活性化ということであれば、世界遺産に対する興味も出てくると思う。
- ・堺市は、2010年に環境モデル都市に指定された。これからの暮らし方みたいなものを街の中でどういう風に作っていくのかといったことに、世界遺産をいかにかけていくかということが大事。
- ・私たちは実際に観光する際、世界遺産や文化施設等を訪れるわけだが、そこには必ずまちがあると思う。特に百舌鳥・古市古墳群はまちに接しているので、資産が暮らしの中に存在している。そういったものをいかに活用していくかということを考えていく必要があるのではないか。

◆委員長

- ・ボランティアの活用や地元機運の必要性についてはどうか。

◆委員

- ・ボランティアガイドについては、すでにかかなりの人数の方が活動されており、仁徳天皇陵のところにいらっしゃる。訪れた方にいかにイメージしてもらうか、価値をわかっていただくかと

ということが大事。ボランティアガイドの方々の協力というのは、すぐに実現可能かと思う。また、地元の機運を盛り上げることや自分たちの地元に対してプライドを持つということにも非常に効果があると思う。

◆委員長

- ・ガイドに関しては、「みささぎナビ」というものが羽曳野で取り組まれているそうなので、少しご紹介いただきたい。

◆委員

- ・観光協会では、8月2日より、「みささぎナビ」というスマートフォンを活用した観光案内をスタートした。市役所周辺を中心に半径5kmの範囲の古墳、神社・史跡などについて、歴史や名前の由来などを説明し、バリアフリー情報や、イベント、花の開花状況などを発信している。今後、さらにエリアを広げていきたいと考えている。

◆委員長

- ・百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録というのは複数の自治体にまたがっているので、自治体、商工会等でビジョンを共有し、他の良い取り組みはぜひ取り入れていただきたいと思う。シンボルマークも、推進本部会議のもので統一されるなど、立場を超えて連携していく必要があると思う。
- ・八尾空港発着の古墳遊覧飛行の企画でも、八尾のミュージアムが前向きに協力しているので、そういうところとも上手くネットワークを築かないといけない。大阪全体で古墳に関する関心を高めていくよう、よく連携していただきたいと思う。

◆委員

- ・私は全国の世界遺産の連携会議というのをやっていて、他資産の事例提供も含めて色々ご協力できると思う。各地それぞれに、ガイド施設、ボランティアガイド、循環バス、レンタサイクル、パークアンドライドなどの良い事例があるので、ぜひ取り入れてほしいと思う。

◆委員長

- ・たとえば、石見銀山では、一般の観光客が行くエリアと、山登りしないと見れないエリアがあり、後者はボランティアガイドと一緒にあがるという仕組みが組み立てられている。ガイド施設をきっちり作ることと、ボランティアガイドでより深く学ぶことの両方が必要だと思う。

◆委員

- ・弊社では、現在でも、堺の街並みを歩くという街歩きイベントを行っていて、お客様にご好評いただいている。そのノウハウを活かして、百舌鳥古墳群を周遊できるような街歩きについて協力できるのではないかと考える。ポスターについても交通媒体としてできる範囲で積極的に協力できればと思う。

◆委員

- ・近年、外国からお越しになる方の多くは、スマートフォン等の端末を使って観光している。古墳群のエリアでも、Wi-Fi などのインターネット環境を整えれば、外国の方にもお越しいただきやすい環境になるのではないかと思う。

◆委員長

- ・（推進本部会議の）シンボルマークは一般の方に使っていただけるのか。ライセンスフリーか。

◇事務局

- ・シンボルマークは、申請要件を満たせばどなたでも使っていただける。縦・横いろいろなタイプがあるので、イベントの開催時や商品など、我々の活動を応援していただけるような内容であれば自由に使っていただくことができ、ボランティアの方がイベントのチラシなどに使っている。そういった機会にも一緒に情報発信をしていければと思う。

◆委員

- ・民間協議会はどういうイメージか。

◇事務局

- ・来年度に向けて検討しているところだが、大阪だけでなく、関西全域における、経済界、文化関係、多方面で活躍されている個人の方も含めた大きな応援組織のようなものにしたいと考えている。現在、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援していくという強い思いをもっているキーとなるような方がいらっしゃるのかということも含めて、検討しているところ。

◆委員長

- ・世界遺産登録が発表されるとき、その瞬間にカメラの前でバンザイしている人たちが各地元におられる。組織を作ることが目的ではなく、登録機運を盛り上げるという想いを共有できる方の集まりだという形にしないといけない。

◆委員

- ・例えば河内家菊水丸とかダルビッシュとか、みんなでやろうという話なのか、経済界を中心として固めていくのか、どっちのイメージか。

◇事務局

- ・今後詰めていきたいと思うが、経済界についても広く参画いただき、応援していただきたいと思っている。

◆委員長

- ・自治体、商工会でもこの年度に盛り上げようというものができてくればいい。まずは、25 年度

に機運を盛り上げるということで連携できるとよいかなと思う。

◆委員

- ・先ほど Wi-Fi の話が出ましたが、市内 3 か所の観光案内所のすべてで Wi-Fi が使えるような環境を整備している。また、観光案内所の機能や、観光ボランティアガイドさんの案内も実施している。さらに、新しいメディアを積極的に取り入れるということはすごく大切だと思う。
- ・個人的な思いだが、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録を応援・サポートする声広がっていけば、もっとみんなにとって身近なものになるのではないかなと思う。例えば、スポーツ界、お笑いなど身近なところからアピールできればいいかなと思う。

◆委員長

- ・大正・昭和初期には皇陵巡拝という、各地の天皇陵を参拝するというようなことがあった。それは、観光ではなくて、巡拝、参拝という概念でツーリズムを起こしていた。今回もそういう形で展開できないものかなと思う。みんなで考え方やビジョンを基に取り組むことが大事だと思うので、市民レベルなど盛り上がりなどのネットワークも活用しながら PR してってもらいたい。

◆委員長

- ・商工会等が独自に世界遺産登録推進の PR ポスターを作っても構わないのか。

◇事務局

- ・例えば、商工会のポスターにロゴマークも入れていただいても構わないし、「統一メッセージ」として作成したわれわれのポスターを積極的に活用いただいても可能。

◆委員長

- ・商工会の方が（ロゴを）名刺に刷り込んでもいいのか。

◇事務局

- ・名刺等に貼るシールも提案いただいているので、実現できるよう進めていく。

◆委員長

- ・シンボルマークとロゴマークの活用を各団体で考えていただきたいと思う。また、DVD、ポスター等のツールをどんどん発信していくということなので、色々な場で利用してほしいと思う。